



2017年2月 No.5

できたしこルーテル5

日本福音ルーテル教会九州教区熊本地震救援対策本部ニュース

もやもやした思いをかかえながらも前を向く熊本の教会の思い そして様々な取り組み

ようやく着工【熊本教会】

■年の改まった1月12日、ようやく熊本教会の修復工事が始まりました。被害の調査から工費の算段、工事計画の立案までのプロセスも大変でしたが、最後は工事のための作業員の確保が困難、という震災後特有の事情で、着工までに9ヶ月を要しました。■壁面や塔の構造材などに大きな被害のある礼拝堂は、壁面の内部にも強度に問題があり、そうした処理まで含め約2000万円が必要となります。



みなさまのご支援に感謝します！

るとともに、被害の原因のひとつとなった屋根材を瓦からガルバリウム鋼材に変更します。会堂の方は、以前の補修工事で既にこの変更を行っていたために被害が拡大せずに済んだからです。牧師館の方の見積は1000万円超ですが、資材を自己調達するなどの工夫により、経費節減策を講じていきます。■工期は、当初2～3ヶ月を見込みましたが、作業員や資材の確保が困難で、最長半年と言わ



卒業まで月額2万円が支給されます

熊本短信

九州学院—ブラウンチャペルの修復工事が完了。教区の宗教改革500年記念礼拝の会場として用いられます。中高の校舎2棟の改築に着手しています。
熊本ライトハウス—行政から委託された福祉避難所の働き、12月に最後の避難者さんを仮設住宅に送りました。食堂棟建替工事の計画がなかなか進みません。
ルーテル学院—学院内の建物の修復はほぼ完了。院外のグランドや阿蘇山荘の復旧が課題です。被災学生への学費減免など、学生支援に力を入れています。
神水教会—第3期の耐震補強工事は見積もり額が急騰。着工の見通しが立ちません。室園教会—内壁のクラック補修は、業者の工事の順番が回ってきません。
大江教会—3月にブラウンチャペル復興支援のためのコンサートを企画しています。甲佐教会—屋根の修理もまだですが余震で新たに壁に亀裂が出来ました。

熊本地震緊急支援第2期募金をよろしくおねがいします。郵便振替00190-7-71734 日本福音ルーテル教会「熊本地震」と明記。4月末日迄九州教区事務所 [〒812-0028福岡市博多区須崎町3-9 Tel.092-281-4204 kyushu-k@jelc.or.jp] 編集：小泉基 発行：岩切雄太



塔まで組まれた足場 ひびが増えつつある

れています。工期中は礼拝を1階の集会室で行うほか、牧師館も同時施工のため、杉本牧師は教会の台所で食事をするなどの不便を強いられます。なんとかイースターを礼拝堂で行いたい、というのが教会としての願いです。■工費には、全国の皆様から寄せられた募金からの配分が充てられる他、建築積立・独自募金などの自己資金、教区等の補助金も用いられます。今回の震災で最も被害の大きかった教会の復旧工事への、お祈りとお支えを、改めてよろしくお祈りいたします。

ボーマン先生を送る【松橋教会】

■礼拝堂の外壁とエアコンの室外機に被害を受けました。エアコンは全面的に取替が必要となりましたが、全国募金の建築支援により、夏には新しいエアコンが入りました。しかし外壁の方は業者の工事の順番が回ってきません。■熊本の宣教のために尽力くださったボーマン宣教師が、地震のために帰国を余儀なくされました。今は信徒を中心にした礼拝を守っています。新たな宣教師が与えられるよう祈っています。

被災学生を支える【健軍教会】

■これまで教会が取り組んできた施設卒園の学生さんのための若枝奨学金の枠組みを用いて、被災学生生徒奨学金の創設を準備してきましたが、この度、関係学校と教会から推薦を受けた学生生徒の方々への支給が始まりました。九州学院・ルーテル学院中高・ルーテル学院大等の奨学生となられた5名の学生さん

方、自宅が全壊された方(4名)や仮設住宅で生活なさる方(3名)、地震でご家族をなくされた方(1名)、夜学で学んでおられる方(1名)など、状況の厳しい方ばかりです。

新センター竣工【障害者センター】

■「できたしこ」が、専従ボランティアとして大山直美さんを派遣する「被災地障害者センターくまもと」は、今回の地震で最も被害が大きかった益城町木山地区への移転を計画してきましたが、この度ようやく「障害者がともに暮らせる地域創生館」が完成。センターはここに入居することになりました。2月21日に開所式が行われる予定です。■センターには現在も、さまざまな障がいをお持ちの方から応援要請があります。現在多いのは、精神障がいの方々からの仮設への引越、仮設からの引越などで、みなさんさまざまな事情を抱えておられます。全国からのボランティアさんの中には、ルーテル教会の会員さんもおられます。ご希望の方はセンターまで連絡を。■「できたしこ」は、全国募金の生活支援枠を用いて、震災1年となる3月までセンターへの支援を継続する方向で調整しています。



益城町 解体がすすみ空地が増えていく

被災地セミナー開催へ

■「できたしこ」では、震災から1年をめぐりに、熊本地震を覚え、教会の支援活動と防災の問題を学びあう被災地セミナーを熊本にて計画しています。現在、内容についての話し合いを行っています。詳細は、決定次第「るうてる」等で発表致しますので、ぜひご予定下さい。